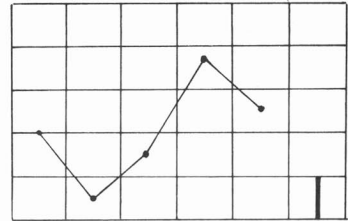


日常生活における強い不満感や情緒不安があるものと思われる。

適応性診断検査 <表4>

検証尺度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
危険性の段階	C (危険性小)			B (危険性やや大)			A (危険性大)								
パーセンタイル	1	10	20	30	40	50	60	70	80	85	90	95	99		
適応傾向	F. 家庭不適応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S. 学校不適応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	E. 自己不適応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	H. 対人不適応	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	P1. 性格1 (意志的)	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	P2. 性格2 (感情的)	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
P3. 性格3 (思考的)	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
N. 規範逸脱性	男	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
問題傾向	ASS. 反社会的問題傾向	男	-20	30	40	50	60	70	80	81	90	98	99	110	130~
		女	-20	30	40	50	60	70	75	76	80	90	93	94	110
	ASS得点 ( / ) タイプ (MPN)														

エゴグラム・チェックリスト <表5>



パーセンタイルが高いほど問題傾向がよい

Fについて

自分の家庭に不満をもちいやだと感じている家庭で親とうまくあわずしくりしな思っている。

P3について

軽率でよく考えずに行動したり、誘惑にかりやすい

Nについて

ものの見方、考え方、行動のしかたが常規を逸しているが、自分ではそうは思わない

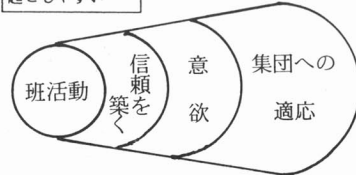
ASSについて

反社会的傾向をよくもち、問題を起こしやすい

CP NP A FC AC LS  
指導前のS男のエゴグラム  
(3・6・29実施)

- 所属意欲が弱いために、感情のままの言語が多い。
- 自己中心性が強く、協調性、規範性が身につけていない。
- わがままなために、仲間から敬遠されている。

(2) 指導援助の見通し<表6>



- ・人間関係への適応
- ・学習への適応
- ・自己への適応

役割→認め→励まし→成果をたてる

② 「学級雰囲気調査」の結果、S男自身は、「楽しい学級」と認めてはいるが、級友に対しては「とても冷たい」と感じており、情緒的に不安定感が見られる。

③ 「Y-G性格検査」の結果、因子別性格検査ではAgとRが高い得点を示し、衝動的で、攻撃的であることが分かる。

④ 「エゴグラム」チェックリスト<表5>ではNPが低く、思いやりや共感することに欠けている。また、FCの自由性が高い。

以上のことからS男の問題を次のようにとらえた。

(3) 班別係活動

本研究では、新聞発行・伊達方面オリエンテーリング・グループ面接・係活動・班会議などの実践を積み重ねてきたが、この中から班別係活動の一部について述べる。

① 「朝の会」の司会の様子からプログラムによって司会進行時間は10分間。

自ら選んだ班代表の係であるため、日々自信を持って、進めている。

時間のない場合「黒板に書いて下さい」など、自分の考えで、指示する。

- 1 出席確認
- 2 今日のお話
- 3 係からの連絡
- 4 今日のニュース
- 5 先生の話
- 6 朝の歌